

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)

交付対象事業の名称	事業の概要	実績額 単位:円	重要業績評価指標(KPI)				実績値	今後の取組
			指標	指標値	単位	目標年月		
1	中野市総合戦略策定事業 専門的調査の実施経費: ・住民を対象とした意識調査等の実施及び総合戦略策定支援業務の委託費 総合戦略案に関する意見集約に関する事業経費: ・外部有識者を含む(仮称)総合戦略会議の運営費	8,637,690	KPI設定なし					戦略の策定が終了したため、事業を終了する。
2	移住促進事業 移住促進PR: 首都圏等で開催される移住促進イベントへの参加費用及びチラシ印刷費 空き家活用のための助成: ・空き家の改修、家財道具の処分等に要する経費に対し補助する	560,880	移住数	2	世帯	H28.3	2	移住促進施策として有効であるため、事業を継続する。
3	新規就農者支援事業 新規就農者に対する助成: ・国の制度の対象とならない親元就農者や配偶者への支援、リース費用等の助成を行う	13,657,600	新規農業者数	15	人	H28.3	15	事業継続により遊休荒廃農地の再生が見込めるため、平成28年度から経費等に係る補助金を新設をし、事業の発展を図る。
4	売れる農業推進事業 事業者と連携した地域PRの経費: ・首都圏等での物産展の開催及び全国規模の商談会の出展において、事業者にも企画段階から参画する官民が一体となった地域PRを実施する経費 ・新事業の創出を目的とする異業種の事業者間連携を支援する経費	18,689,336	展示会での商談成立数	5	件	H28.3	30	地域PRにおいて、事業者との強力な連携体制が実現し、さらに、異業種事業者の協働による新事業創出に向けた取組みが期待できるため、事業を継続する。
			メディア掲載回数	12	回	H28.3	25	
5	観光振興事業 観光ボランティアの養成: ・地域資源を生かした観光を推進する人材の育成に要する費用 インバウンド拡大: ・本市の地域資源を発掘し、情報発信するため、外国人留学生を招致する経費	994,196	観光ボランティア養成数	10	人	H28.3	10	本事業が観光振興を促進する上で重要であると考えられるため、事業を継続する。
			留学生によるSNS発信	5	件	H28.3	2	

	交付対象事業の名称	事業の概要	実績額 単位:円	重要業績評価指標(KPI)				実績値	今後の取組
				指標	指標値	単位	目標年月		
6	女性のための再就職支援事業	女性のための再就職支援: ・再就職を希望する女性向けの講座を開催する費用及び講座修了者を雇用した企業に補助金を交付(上限100千円 20人)	4,092,000	職業訓練者就業率	7	割	H28.3	4	一定期間継続することで効果がある支援であること、対象者は潜在的に他にもいることから、今後も継続していく。
7	技術開発、販路開拓等支援事業	新技術・新製品開発支援: ・経営体質強化を図るため、技術開発に要する費用を助成(上限 1企業1,000千円 1件、1グループ1,500千円 1件) 特許取得支援: ・経営体質強化を図るため、特許取得に要する費用を助成(上限 1企業100千円 1件) 展示会等への出展助成: ・市外で開催される展示会等への出展に要する費用を助成(上限 150千円 4件)	3,587,018	新製品製品化	1	件	H28.3	1	一定期間継続することで効果がある支援であること、対象者は潜在的に他にもいることから、今後も継続していく。
				特許取得申請	1	件	H28.3	2	
				展示会での商談面会者数	20	社	H28.3	11	
8	子育て応援事業	子育て応援ガイドブック作成: ・母子手帳交付対象者等に、市の子育て施策等をまとめたガイドブックを作成、配布するための費用	2,123,280	市内子育て支援センター登録者数	40	人増(対前年比)	H28.3	122	子育て応援ガイドブックの作成は終了したため、事業を終了する。
9	農業イメージアップ事業	新規就農者等に中野市独自デザインの農作業服を配布する費用	2,395,000	新規農業者数	15	人	H28.3	15	独自デザインの農作業服の製作及び配布が終了したため、事業を終了する。
10	地域公共交通網再構築事業	バスの購入費 試験運行业務委託費	7,605,000	新たな運行形態での試験運転完了	-	-	H28.3	未了	持続可能な地域公共交通の維持確保を図るため、平成28年10月から新たに1路線を追加し、「ふれあいバス」を運行(購入したバスを使用)する。
				ふれあいバス利用者数	31	人/日	H32.3	14.2	

地域創生加速化交付金

	交付対象事業の名称	事業の概要	交付額 単位:円	重要業績評価指標(KPI)				目標値
				指標	指標値	単位	目標年月	
1	「信州なかの」ブランドをいかした地域活性化事業	<ul style="list-style-type: none"> ● 姉妹都市、都市住民組織等と連携し、相互に販路拡大を図るほか、生産者による直接販売により、消費者ニーズを直接感じられる機会を創出し農業者の意識向上を図る。 ● 活用事業者を中心に、大規模見本市への出展支援や、事業者マッチングによる新商品開発、情報交換会の開催などを通じ、販売促進だけでなく事業者の経営能力向上、人材育成を図る。 ● 全国地域ブランド連携協議会加盟市町村との連携により、合同イベントの開催や新商品の共同開発など、全国的な地域ブランド化に向けての情報発信を行う。 	32,302,000	イベントの開催及び出展回数	13	回	H32.3	18
				6次産業化事業計画認定件数	5	件	H32.3	7
				新規就農者数	25	人	H27～H31年度累計	120
2	「きのこの聖地」プロジェクト～地方におけるオンリーワン未来産業創出～	<ul style="list-style-type: none"> ● きのこ栽培業者等と連携し、栽培機材の収集・保存を行うなど、民間では取組みにくい本市におけるきのこ産業の歴史的調査を行い、「きのこの聖地」としてのアイデンティティを確立し、ミュージアムの展示の方向性を検討する。 ● 「(仮称)きのこミュージアム」の企画検討を行うための研究会を立ち上げるとともに、金融機関等と連携し、民間の出資を基本として、本事業の実現可能性調査を行う。 ● きのこの食材としての可能性を広げ、ミュージアムでの加工食品としての販売を見通し、きのこスイーツの開発、販促活動を行う。 	13,000,000	地域ブランド調査観光意欲度全国ランキング	685	位	H32.3	400
				(仮称)きのこミュージアム入場者数	-	人	H33.3	100,000
				(仮称)きのこミュージアムにおける雇用創出	-	人	H32.4	50
3	DMO構築による山岳高原観光推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ● 情報発信力の強化のため、信越自然郷パンフレットやマップ等訴求ツールの作成(多言語版含む)、広域観光旅行商品造成及びPR、実施、登山ルート等を掲載したマップの作成、高社山PR動画の制作等を行う。 ● アウトドアスポーツの振興のため、サイクルステーションを整備(看板、スタンド等)する。 ● 観光客の利便性を図るため、電気自動車用充電器を整備する。 ● 急激に増加している訪日外国人旅行者を取り込むため、多言語クラウドサービスを導入する。 	12,178,000	地域ブランド調査観光意欲度全国ランキング	685	位	H32.3	400
				観光地利用者延べ人数	52	万人	H32.3	54